

移動空間の未来を創る

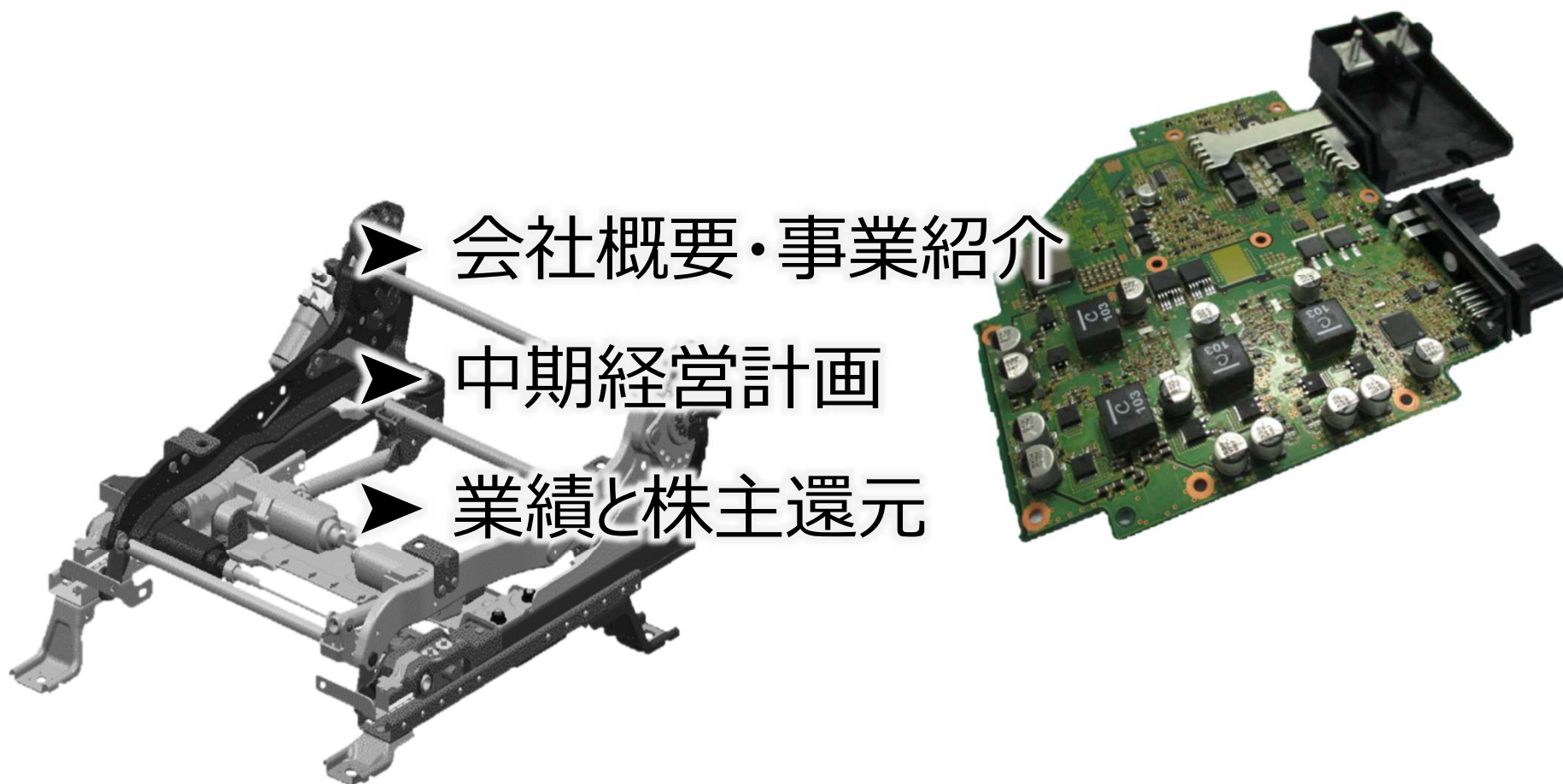


<https://www.imasen.co.jp> 

公式X (旧Twitter) @Imasen\_Official 

株式会社今仙電機製作所

東証スタンダード・名証プレミア (証券コード: 7266)



▶ 会社概要・事業紹介

▶ 中期経営計画

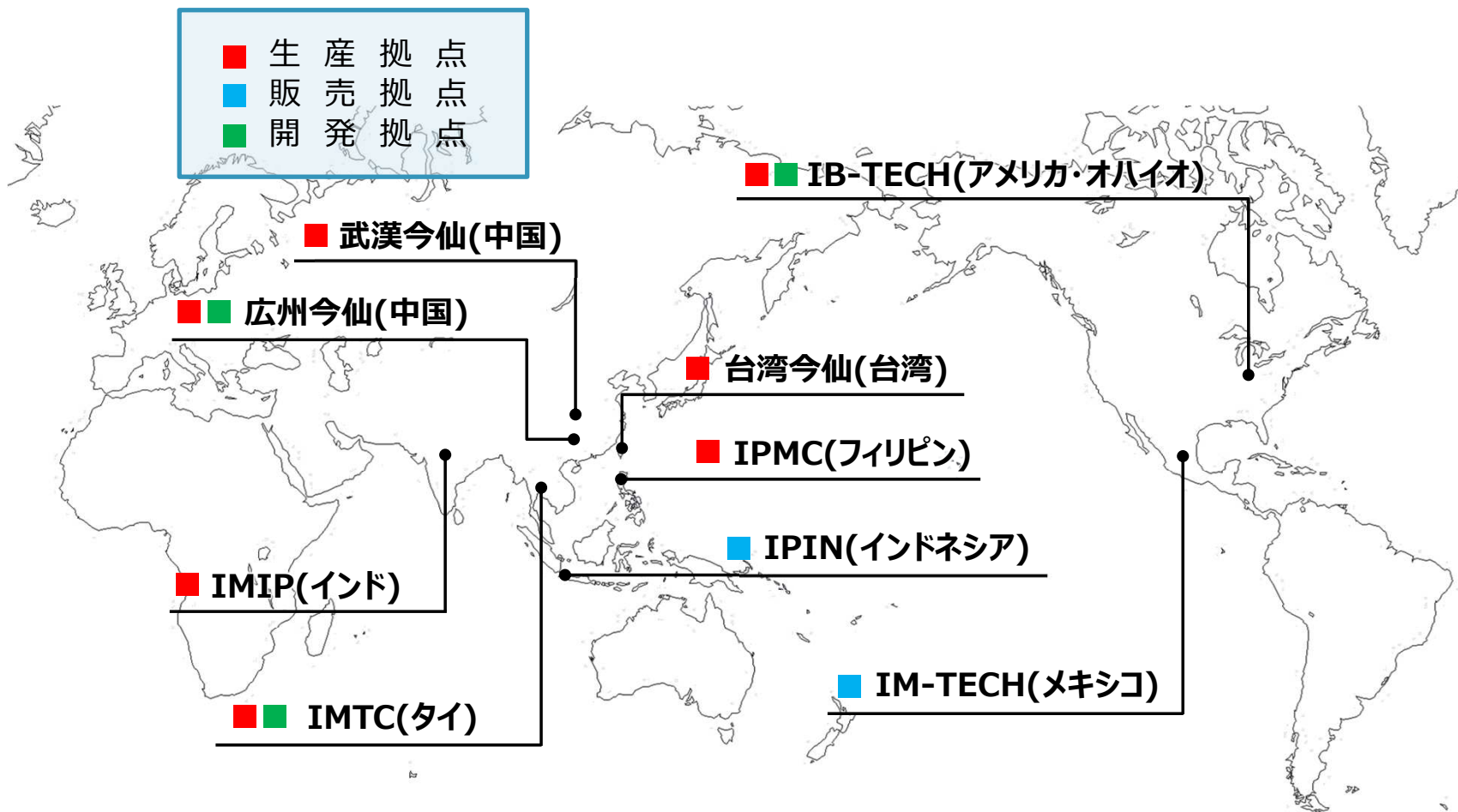
▶ 業績と株主還元

## 株式会社 今仙電機製作所

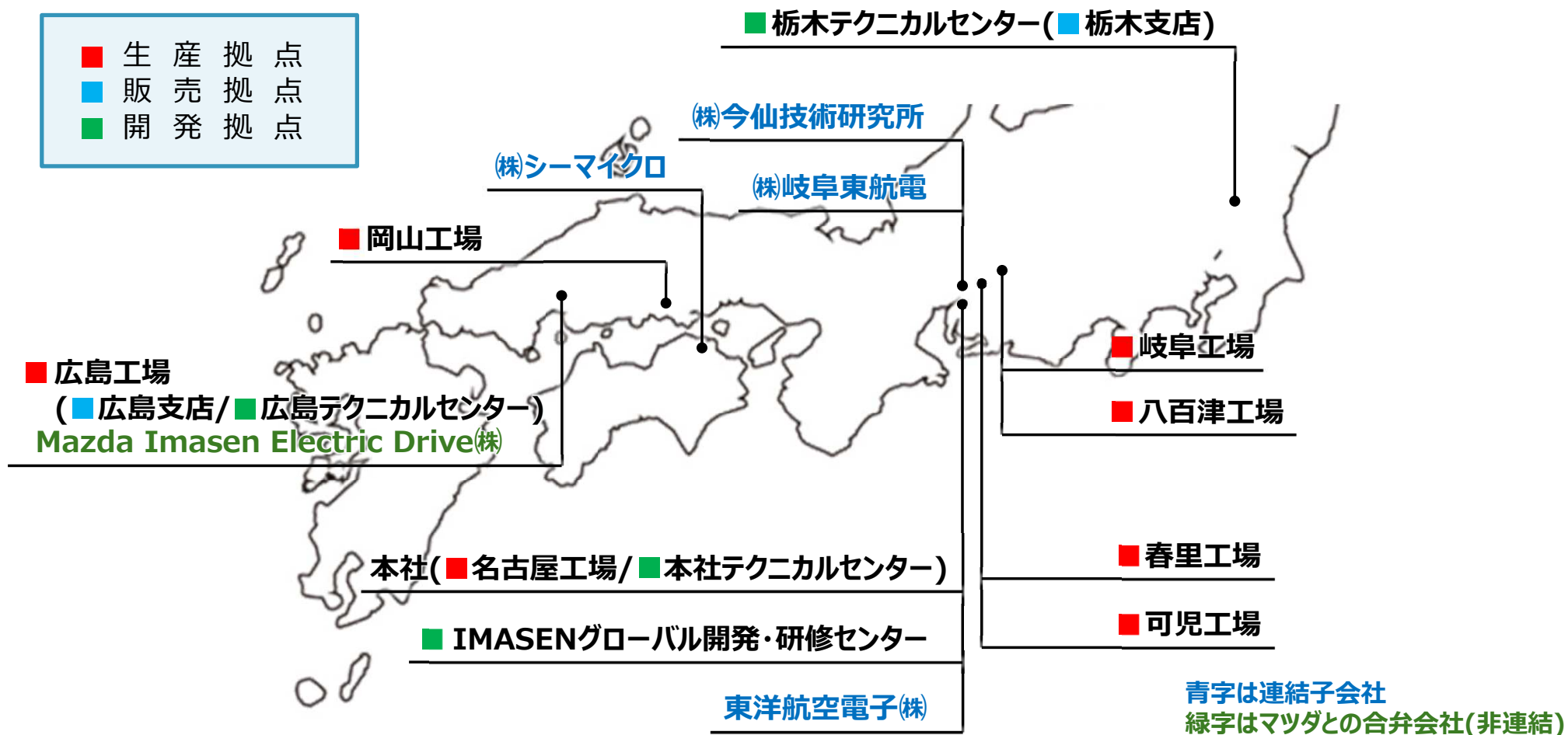
- ▶ 代表取締役社長 長谷川 健一
- ▶ 設 立 1939年2月1日
- ▶ 本社所在地 愛知県犬山市字柿畑1番地
- ▶ 資 本 金 7,289百万円
- ▶ 発行済株式数 22,775,352株
- ▶ 主な事業内容 自動車用シート機構・電装製品および電子製品の製造・販売
- ▶ 従 業 員 数 2,596名（連結）
- ▶ 上場取引所 東証スタンダード・名証プレミア  
(証券コード：7266)



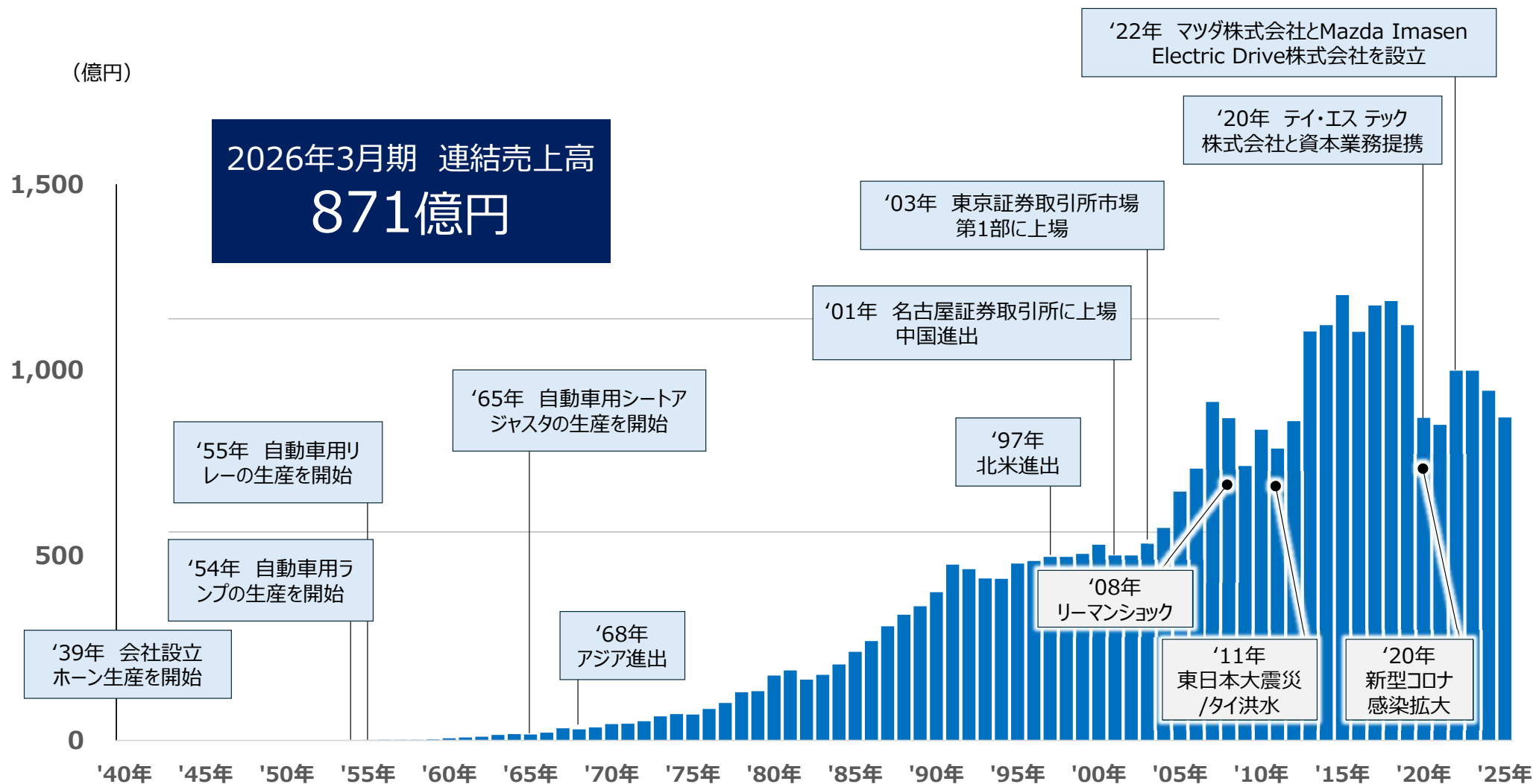
※データは2026年3月末時点

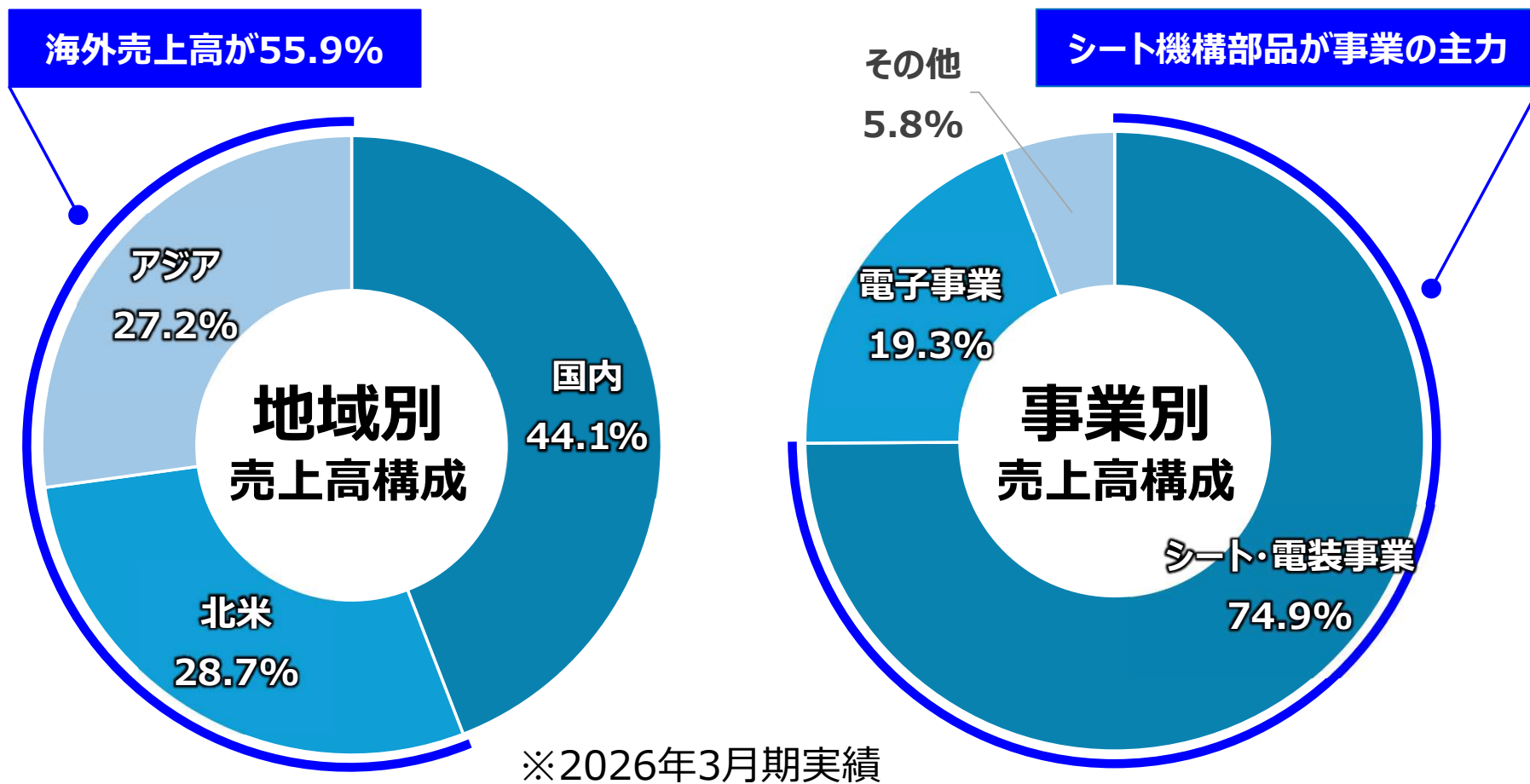


北米・アジアに9法人を設置、グローバルに展開



国内に9事業所 子会社4法人 マツダとの合併会社1社





シート機構部品と車載電子部品が主要事業

# EV化、自動化が進む自動車のニーズに応えるシート製品、電装製品を IMASENは提供し続けています

## シートアジャスタ

着座位置、姿勢を調整する製品群



## パワーシートアジャスタ

電動で座席位置を  
様々に調整する機構



## マニュアルスライドレール

手動で座席の前後位  
置を調整する機構



## ラウンドリクライニングユニット

シートリクライニング  
のコアとなる製品群



## ロングスライドレール

ミニバン2列目、3列目  
の前後調整用レール



## 福祉車両向けシート機構

福祉車両の乗降を  
容易にするため、  
シートを車外に  
せり出す機構



## リアコンビネーションランプ

ストップランプ、ウインカー等の  
ランプ類を一体化した製品群

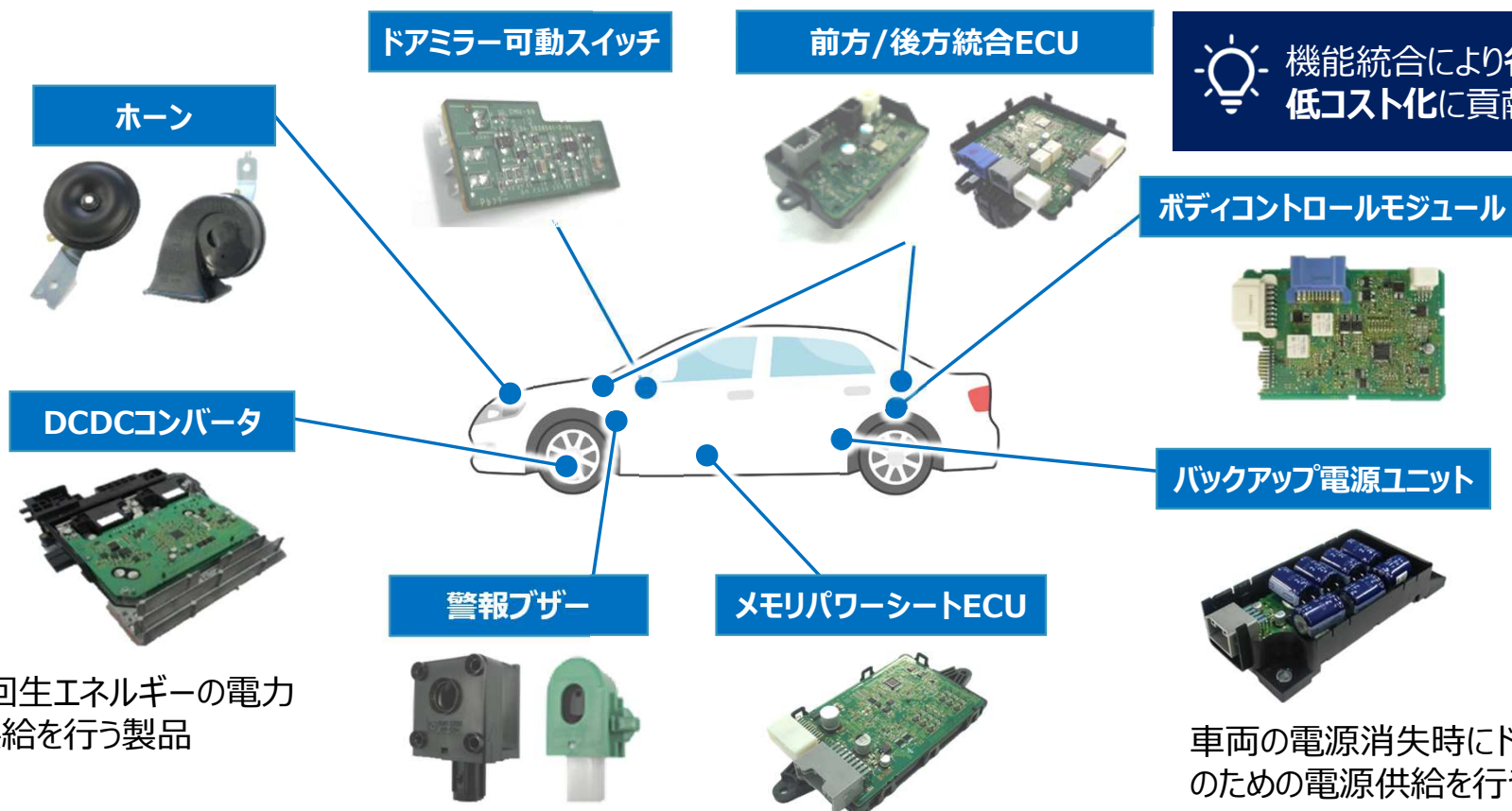


スライドレールの断面は  
世界最小レベルで軽量化、  
レイアウト自由度アップに  
貢献

# CASE普及による電子化、電動化に向けて、IMASENは自動車技術の進化を支えています

前方のエアコンや、後方のランプ類、ワイパー等の複数の機能を制御する製品

💡 機能統合により省スペース化、低コスト化に貢献



ブレーキ回生エネルギーの電力変換、供給を行う製品

車両の電源消失時にドアロック解除のための電源供給を行う製品

## 車載インバータ製品の立ち上げ

マツダ株式会社との合弁会社（Mazda Imasen Electric Drive株式会社）ではEV、HEV向けの「**小型**」「**高性能**」「**高効率**」なインバータを開発



量産に向けて投資を強化、設備導入を開始



### 【電子事業の中長期売上イメージ】



## IMASENグループ内のシナジーで新しい製品・事業の創出を目指します

### 航空宇宙・工作機械用ワイヤーハーネス



#### ■ 宇宙ロケット開発に寄与

JAXA（宇宙航空研究開発機構）様、三菱重工業様が手掛けるH-IIAロケット（2025年6月運用終了）から引き続き、H3ロケットの開発協力に対しても当社グループの製品が寄与しています。

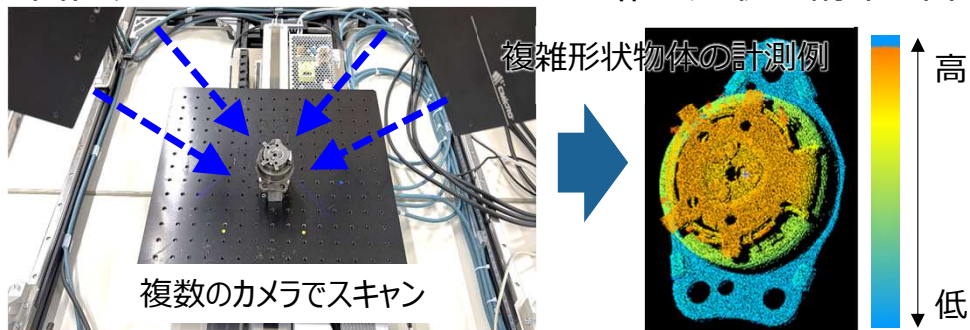
### 産業用カメラ・画像処理

#### ■ ラインスキャンカメラ



#### ■ 3D検査システム

独自開発の3Dカメラ・ソフトウェアで複雑な形状も精確に計測/検査



色彩で高低を表示

## IMASENグループ内のシナジーで新しい製品・事業の創出を目指します

### 福祉機器

電動車いす・電動カート

リクライニング、チルト機能を搭載した電動車いす

Light6



M4



多機能な次世代型電動カート

myride (マイライド)



「自らの意思で動く楽しさ」を提供する電動カート

現在28社と代理店契約を結びレンタル事業も展開中

一般用・競技用義足



歩行支援機



幼児用・小児用移動支援機

※この他にも製品ラインナップあり

# 中長期ビジョン

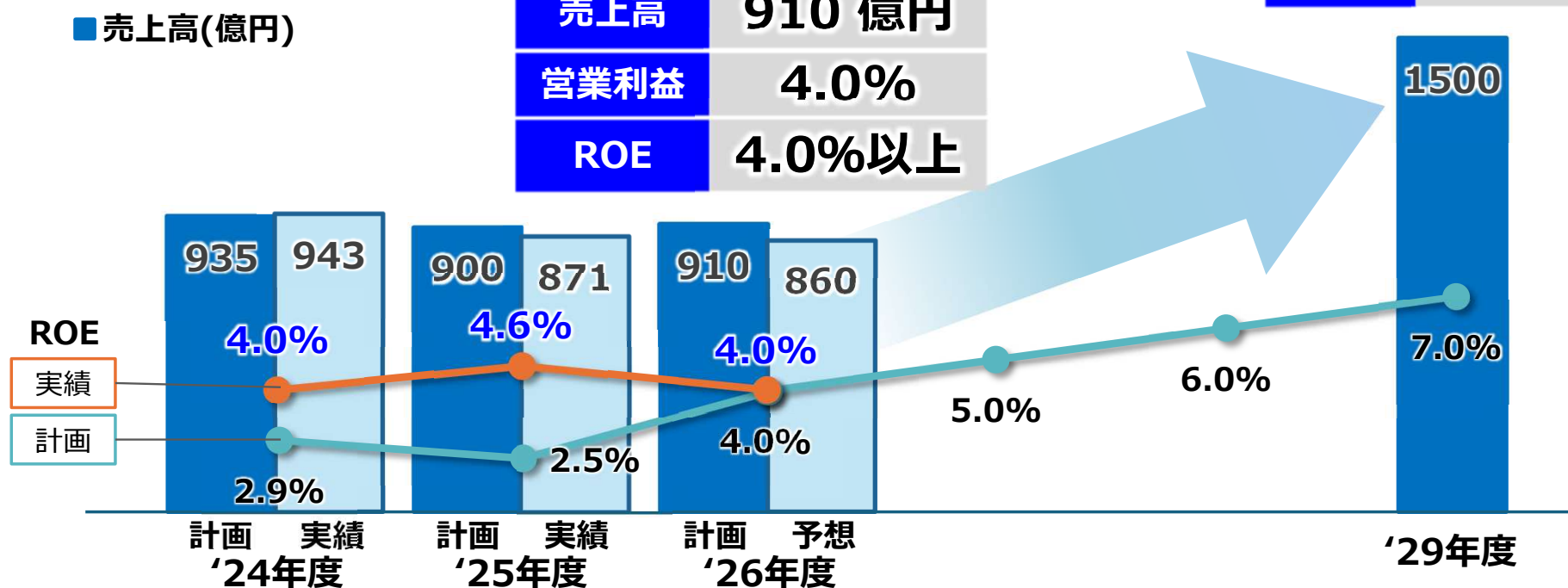
## 中期会社目標：業績回復と事業成長

### ▶2029年度 長期目標

売上高	1,500 億円
営業利益	6.0%
ROE	7.0%以上

### ▶2026年度 中期収益目標

売上高	910 億円
営業利益	4.0%
ROE	4.0%以上



中期・長期目標の実現に向けて9つの重点施策を展開

※   は本日ご説明

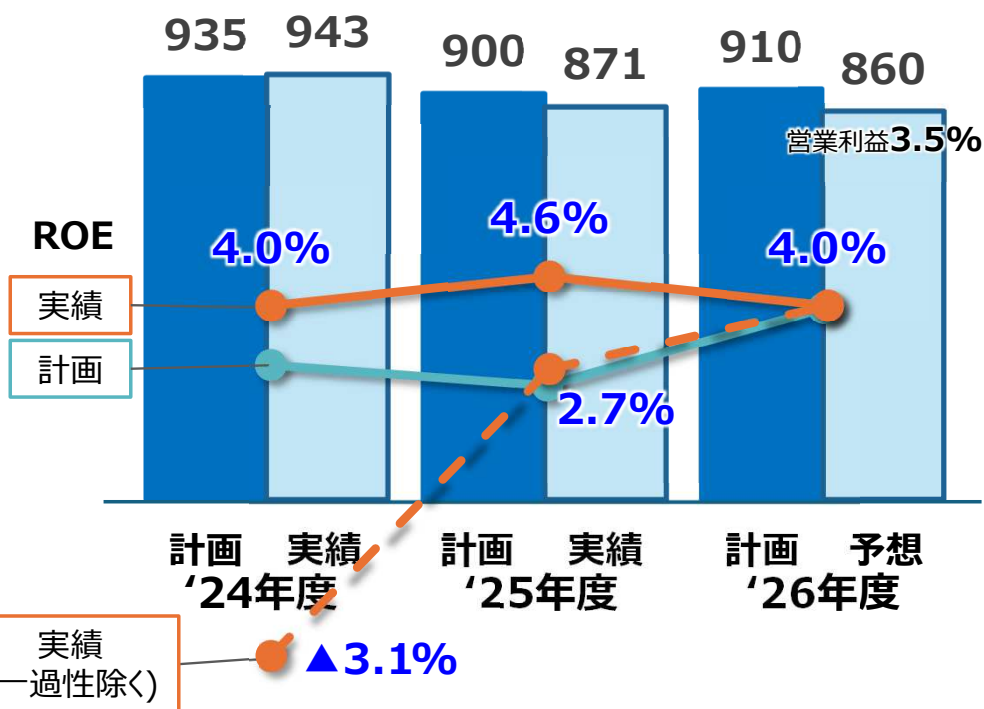


## 中期会社目標（2024～26年度）： 業績回復と事業成長

▶2026年度 中期収益目標

売上高	910 億円
営業利益	4.0%
ROE	4.0%以上

■売上高(億円)



### ROEハイライト

#### '24年度

一過性要因(投資有価証券売却益)により前倒しで4.0%を達成

#### '25年度

中国、タイでの**人員最適化**や、各種**合理化の効果**に加え、一過性要因(テネシー工場売却益、投資有価証券売却益)により前年に続き達成

#### '26年度

売上高は減少

中国での日系OEM販売不振  
アジアでの販売台数伸び悩み  
ホンダEV戦略見直し

一過性の良化要因が無くなるものの、これまでの改善効果に加え、**国内における工場再編効果**などにより利益体質の実力ベースで**ROE4.0%以上を目指す**

「9つの重点施策」の取り組みにより**目標ROEを達成**しました

## 通期の受注件数

	車種	製品数	備考
シート製品	4車種	9製品	現行モデルに続き次期モデル獲得：6製品
			新規車種：3製品
電子製品	5車種	10製品	現行モデルに続き次期モデル獲得：6製品
			新規車種：4製品

### 当社主力製品と その特徴

シートアジャスタ



- ✓ レール断面は世界最小レベル 軽量化、レイアウト自由度アップに貢献

統合ECU等



- ✓ 複数の車載機能制御を行う電子部品 機能統合により省スペース化、低コスト化に貢献

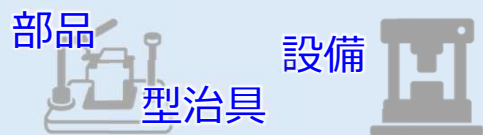
中長期での事業成長に向け、今期も引き続き積極的な営業活動を展開中

## 成長市場でのシート製品売上拡大 – インド拠点の体制強化 –



### これまでの取り組み

#### 現調化・内製化

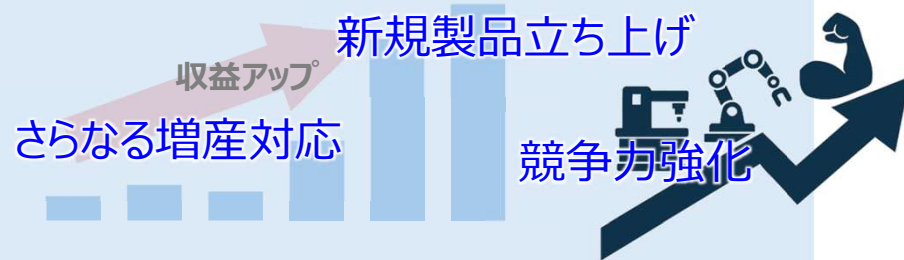


#### 増産対応



### 今後の事業拡大に向けて

#### 投資の推進



#### 新規OEM向け量産体制構築

車載電子製品の拡販

#### 営業活動強化



今後の事業拡大に向けた取り組みを継続中

## 北米拠点の最適化と現地生産体制の強化（合理化投資）



### ■ テネシー工場からオハイオ工場へシート生産を移管

2024年12月に北米拠点の生産体制一元化が完了 テネシー工場売却

### ■ オハイオ工場への積極投資 （合理化・生産増加への対応）

中長期での**生産拡大に向けての体制整備を推進中**



拠点の集約、増強、合理化投資でコスト競争力強化を推進中

## 中国市場の需要動向に合わせた体制整備



### 生産規模に合わせた人員最適化

広州、武漢の両拠点で実施し**損益分岐点を引き下げ**

※タイ拠点においても実施済

### 武漢工場の生産体制最適化

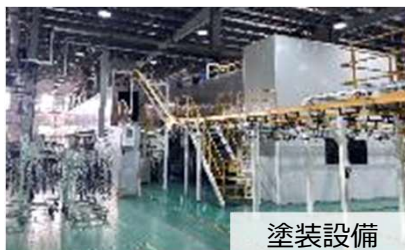
#### 一貫生産体制の構築に向けた取り組み

2023年増設済



プレス設備

2023年導入済



塗装設備



広州工場



**ギヤボックスとは...**  
モーターの回転軸や回転速度を変える機構を持つ部品

**2025年  
広州工場よりコア部品  
(ギヤボックス)生産を移管**

中国市場動向の変化への対応に向けて最適な生産体制の構築を推進

## 国内拠点の最適化

■ 生産品目の垣根を超えた合理化推進・工場再編を実施中

### －国内事業の稼働力の再構築－

・**工場再編**、生産集約による各種費用低減

- ✓ 電装製品生産を**1拠点に集約**、**生産体制のスリム化**(6→4拠点) **推進中**
- ✓ 生産集約で発生したスペースを、**今後拡大する電子製品生産に活用** **27年度～**

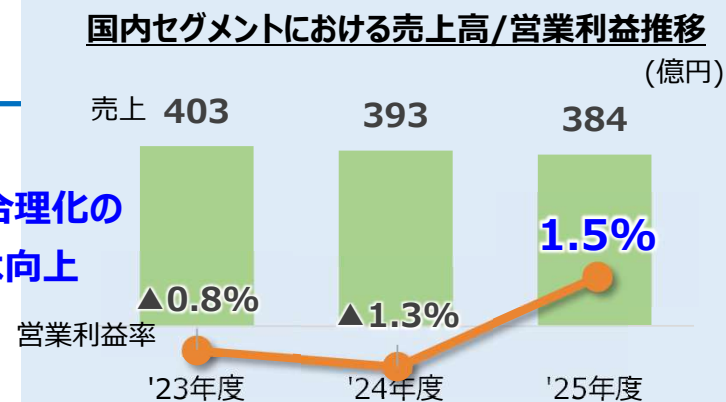
・**合理化**による利益体質強化 **推進中**

- ✓ 主に岐阜工場、岡山工場で**積極的な合理化投資**

### －電子事業拡大への対応－

- ・インバータ製品の立ち上げ **推進中**
- ・既存製品群のリアロケーション

これまでの工場再編、合理化の  
刈り取りにより利益率は向上

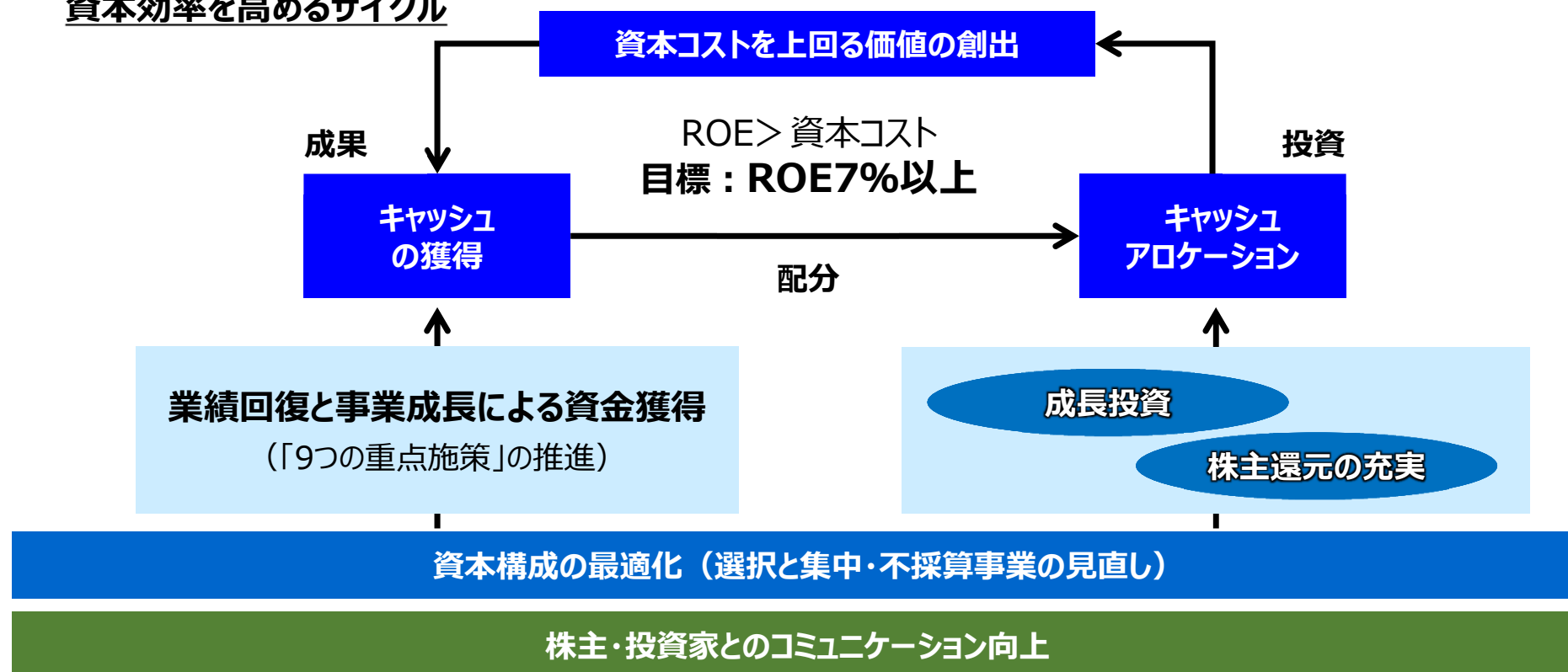


国内における稼働力の再構築に向けた構造改革、原価低減を推進中

## 基本施策： 資本コスト・株価を意識したキャッシュの使用

キャッシュ創出の安定化、資本効率の追求、株主への還元を重視しながら、将来成長に資するキャッシュの使い方をしてまいります

### 資本効率を高めるサイクル



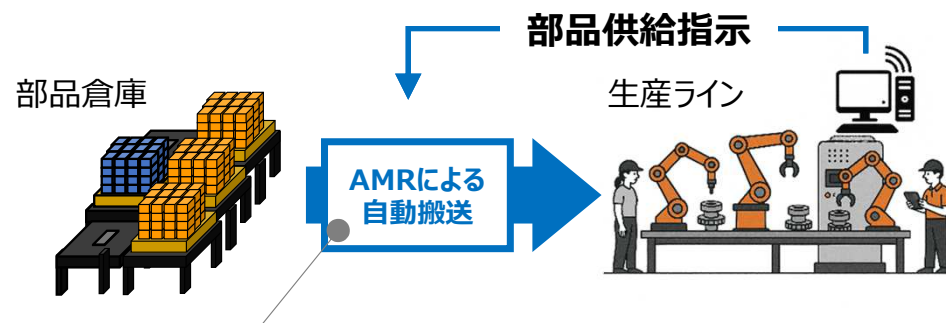
## ■ 販売拡大に向けた新価値提案

車室空間のニーズ変化に対し、快適な移動・室内空間を実現する製品開発



## ■ スマートファクトリー実現に向けた取り組み

ロボット搭載AMR(自律走行搬送車)の開発・導入



### ロボット搭載AMR

部品のピッキング～自律走行による生産ラインへの供給を行う  
ラインサイドの狭小エリアをスムーズに移動可能

### グループ技術のシナジーによる開発

カメラ画像認識技術

小型モビリティ技術

電装配線技術

26年度より国内工場での評価・検証を開始

グループシナジーを活かした新製品開発でさらなる事業拡大を目指す

# 業績と株主還元

## 2026年3月期実績および2027年3月期の連結業績予想

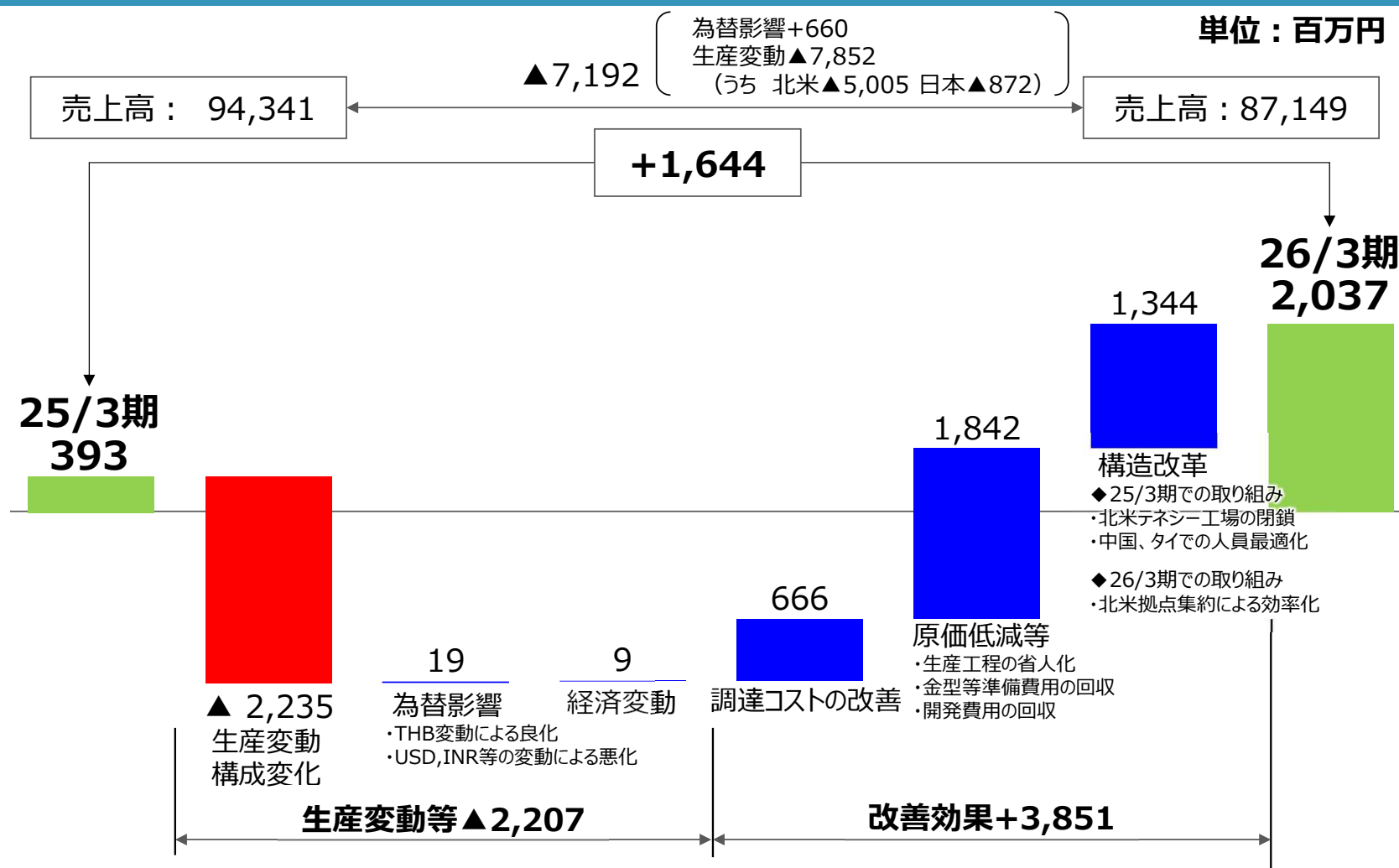
(単位：百万円)

	25/3期 実績	26/3期 実績	前期比 増減率	27/3期 予想	前期比 増減率
売上高	94,341	<b>87,149</b>	▲7.6%	<b>86,000</b>	▲1.3%
営業利益	393	<b>2,037</b>	417.8%	<b>3,000</b>	47.2%
経常利益	511	<b>2,122</b>	314.7%	<b>2,800</b>	32.0%
当期純利益	※1 2,084	※2 <b>2,480</b>	19.0%	<b>2,300</b>	▲7.3%
ROE	2.5%	<b>4.4%</b>		<b>4.0%</b>	
為替	USD	151.69円	150.67円	150.00円	
	CNY	21.04円	21.22円	21.50円	
	THB	4.30円	4.67円	4.60円	

※1 25/3期においては投資有価証券売却益3,598百万円を計上しております

※2 26/3期ではテネシー工場売却益852百万円および投資有価証券売却益164百万円を計上しております

# 2026年3月期 通期 営業利益

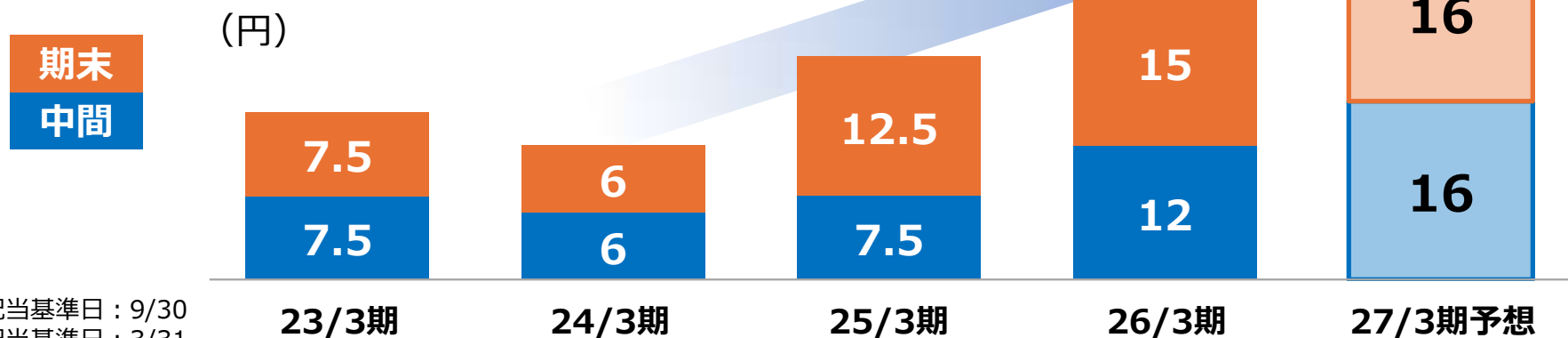


減収影響を受けたものの、前年度における構造改革効果の刈り取りと原価低減活動により増益

【配当方針】

- 業績回復に応じた**安定的増配**
- 配当性向目標 30%とし、**年次の経営環境や業績により決定**

業績計画達成が見込まれる場合、さらなる上積みを検討



中間配当基準日：9/30  
 期末配当基準日：3/31

配当性向	-	-	21.0%	23.4%	<b>29.6%</b>
配当利回り	2.04%	1.88%	3.17%	3.26%	※ <b>3.48%</b>

※ 5月25日終値919円で算出

【ご参考】 26年3月期における 配当の推移	期初予想 20.00円	+2円	8/27増配開示 22.00円	+5円	2/6増配開示 27.00円
------------------------------	----------------	-----	--------------------	-----	-------------------

上場取引所： 東証スタンダード・名証プレミア（証券コード：7266）

5月25日 終値 **919 円**

※( )は前期比

PER **8.5 倍** (+18.7%)

PBR **0.34 倍** (+8.9%)



※PER/PBRの算出株価  
 前期・・・2026年3月末終値  
 表示・・・2026年5月25日終値

ROE 予想 **4.0 %** (▲9.1%)

前期においてテネシー工場売却益および政策保有株式の売却益等の一過性の利益を計上したことから、前期比は減少しております

**各指標は前期比で上昇傾向にあります  
 が、さらに取り組みを加速させ、指標の  
 向上につなげてまいります**

## 株主優待制度のご紹介

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式の投資魅力の向上に向け、2026年3月末権利確定分より**株主優待制度を導入**しています



### 今仙電機製作所・プレミアム優待倶楽部

保有する株式数や期間に応じて株主優待ポイントを進呈

当社の拠点所在地ゆかりのおすすめ商品をはじめとし、グルメ、銘酒、家電製品、選べる体験ギフトなど5,000種類以上の優待商品からお好みの商品に交換いただけます



※商品の一例

詳しくは今仙Webサイトの「株主優待」ページで  
<https://www.imasen.co.jp/ir/share/benefits/>



#### 進呈条件

◆ 300株以上の保有 ◆ 半年以上の継続保有 ※長期保有特典あり ◆ 権利確定月：3月

最大付与例：2,000株以上 5年以上 保有の場合 40,000円相当のポイント付与

優待利回り：最大 2.17% ※2,000株を5年保有の場合 ※5月25日終値919円で算出

## IRに関するお問い合わせ先

株式会社今仙電機製作所 経営企画部 企画課 IR担当  
TEL 0568-67-1517 <https://www.imasen.co.jp>

本資料の内容に関する一切の権利は(株)今仙電機製作所に帰属しています。複写および無断転載はご遠慮下さい。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

## ■今仙Webサイト

<https://www.imasen.co.jp/>



適時開示等、様々な情報を発信しています



## ■公式X（旧Twitter）

@Imasen\_Official



最新情報をいち早く発信しています

